

活力ある文化と 昭和60年度予算と

市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年前期（10月～3月）、後期（4月～9月）に分けて、6月と12月に「富士市の財政」を公表しています。

今回は、昭和60年度予算と昭和59年度の財政状況（昭和59年10月1日～60年3月31日）をお知らせします。

60年度一般会計は **478億4,000万円**

（歳出）

項目	金額	説明
土木費	124億8,908万4,000円	道路や河川の整備に
衛生費	81億8,813万4,000円	ごみ処理や病気の予防に
教育費	80億7,690万9,000円	学校整備や社会教育などに
民生費	56億5,740万円	社会福祉などに
総務費	37億7,383万8,000円	庁舎管理や人件費などに
公債費	35億4,194万円	借りたお金を返すために
消防費	17億7,406万円	消防、水防、防災のために
労働費	13億5,667万円	働く人たちのために
農林水産業費	12億6,058万1,000円	農業や水産業のために
商工費	12億2,472万7,000円	商業や工業発展のために
その他	4億9,665万7,000円	議会費、災害復旧費など
合計	478億4,000万円	

厳しい中での積極予算

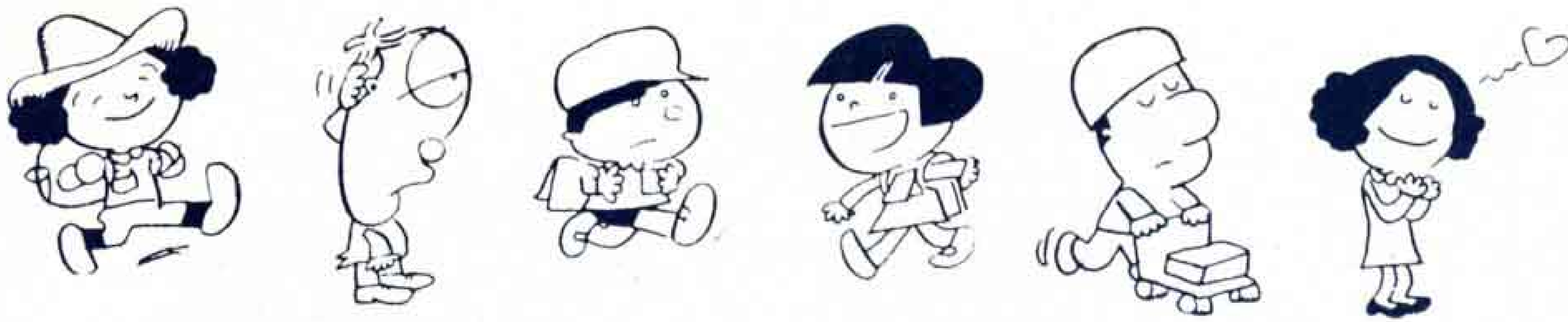
昭和60年度予算は、一般会計が478億4,000万円、企業会計を含む特別会計が260億6,953万6,000円。総額739億953万6,000円です。

59年度当初予算と比較すると、一般会計が60億4,000万円増の14.4%の伸びを示し、企業会計を含む特別会計が市立中央病院の完成により5,921万2,000円、0.2%の減少となりました。

歳入面では、自主財源の根幹をなす市税収入が前年度対比8.7%、金額にして21億7,950万円の増加となりました。

国、県支出金、市債等の依存財源については、国庫補助負担率の見直し、地方債の充当率引き下げの影響があらわれた厳しい財政構造となっています。

歳出については、懸案でありました新幹線富士駅設置事業を初め、ごみ処理施設、斎場の建設、都市計画事業、公共下水道事業の推進、道路、河川、公園の整備、教育施設の整備、福祉の充実、産業経済の振興等、総合計画に掲げる諸事業を積極的に計上しました。



産業と福祉のまち

59年度の財政状況

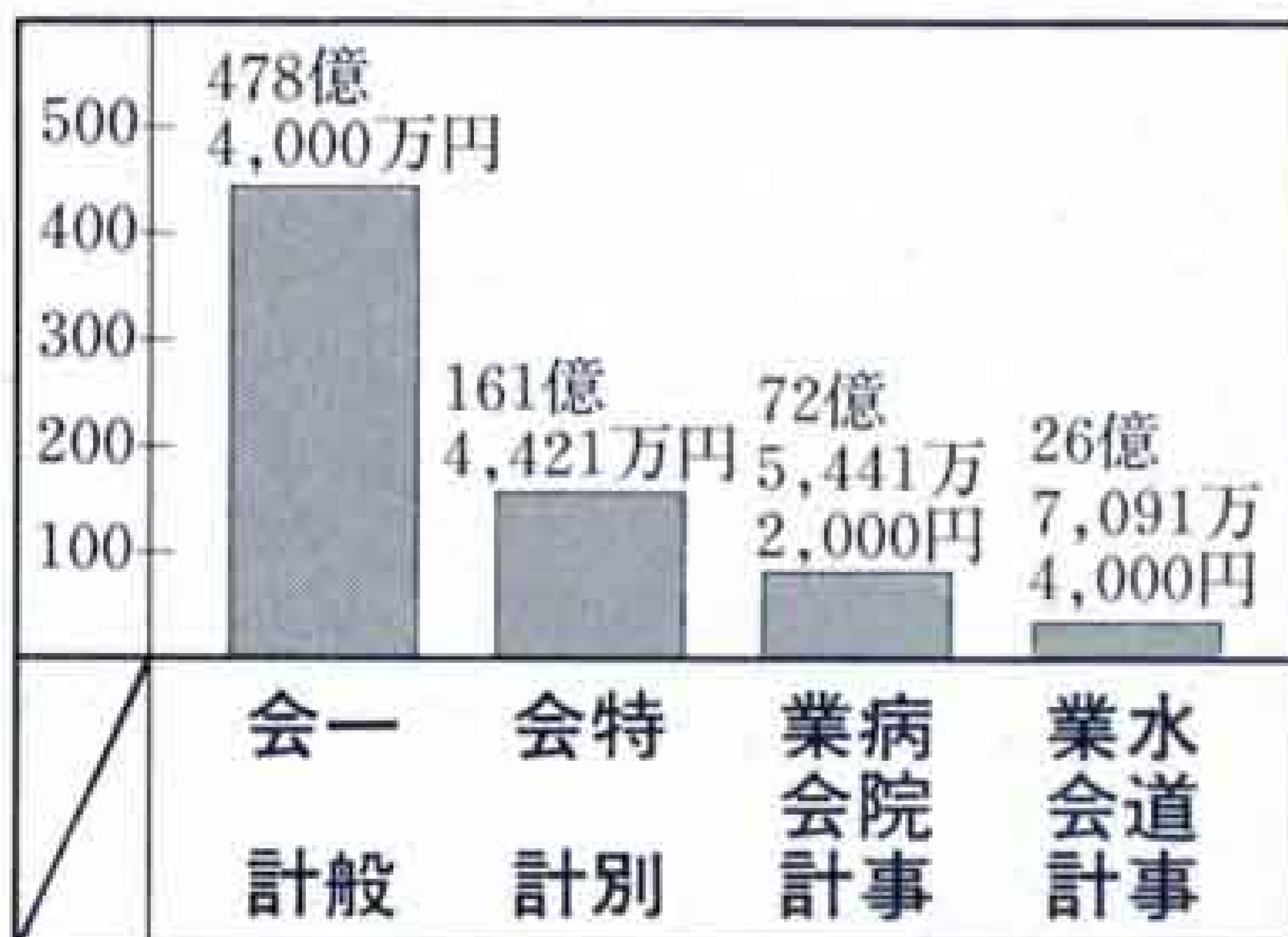
一人当りに使うお金は22万2,237円
一人当たりの市税負担額は12万6,096円

(歳入)

項目	金額	構成比
市税	271億4,400万円	56.7%
市債	49億3,200万円	10.3
国庫支出金	36億5,824万7,000円	7.6
諸収入	34億4,837万8,000円	7.2
県支出金	20億3,602万3,000円	4.3
繰入金	17億5,567万円	3.7
分担金及び負担金	14億7,214万9,000円	3.1
その他	33億9,353万3,000円	7.1
合計	478億4,000万円	100%

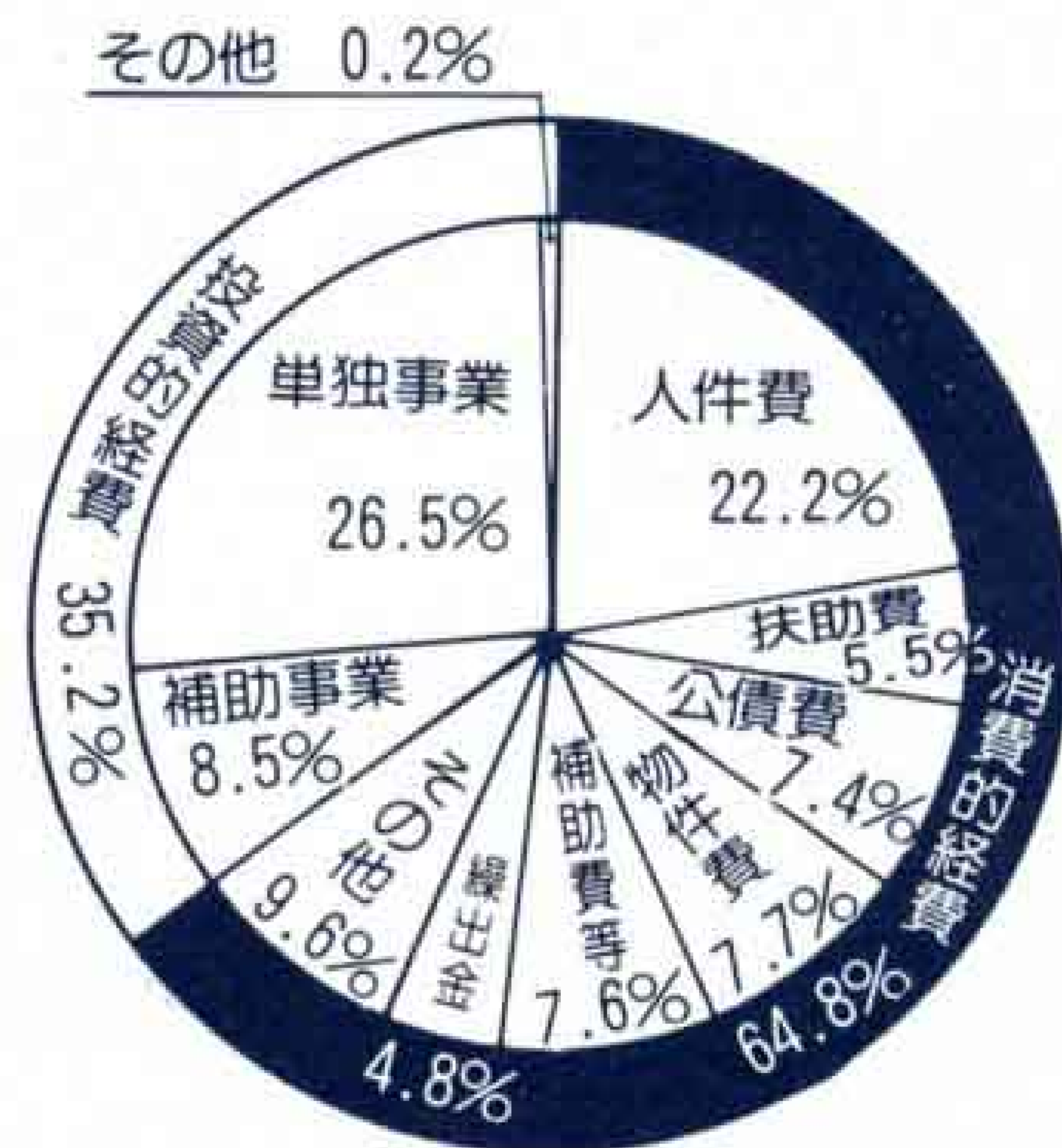
総額739億953万6,000円

60年度
会計別
予算



財政構造の状況

性質別
歳出



これが市有財産です

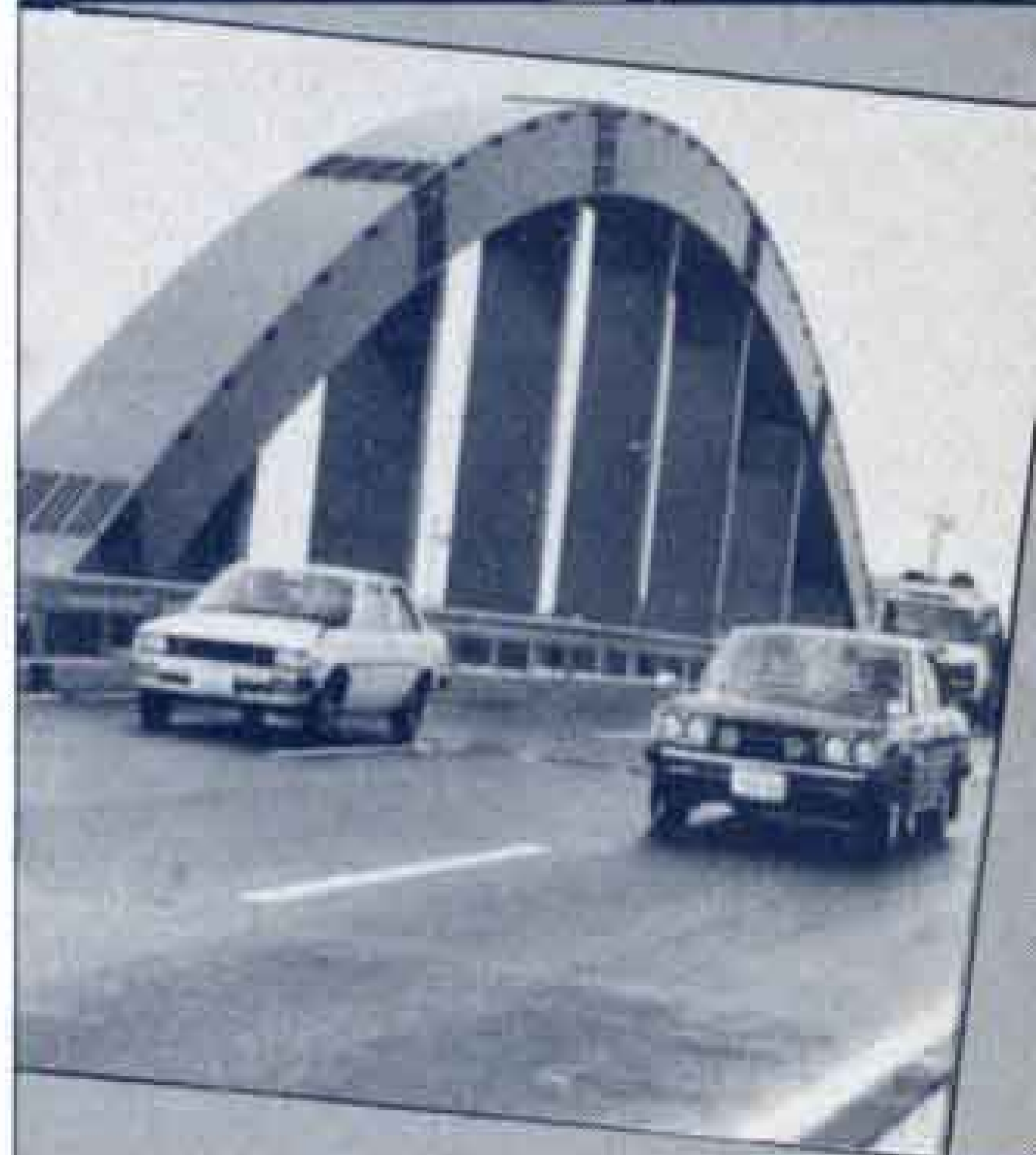
有価証券	2,035万5,000円
土地	4,915万4,614㎡
建物	53万1,457㎡
立木	22万2,929㎡
車両	252台

公営企業財産を除く(60年3月31日現在)

基金の現在高 36億1,663万円

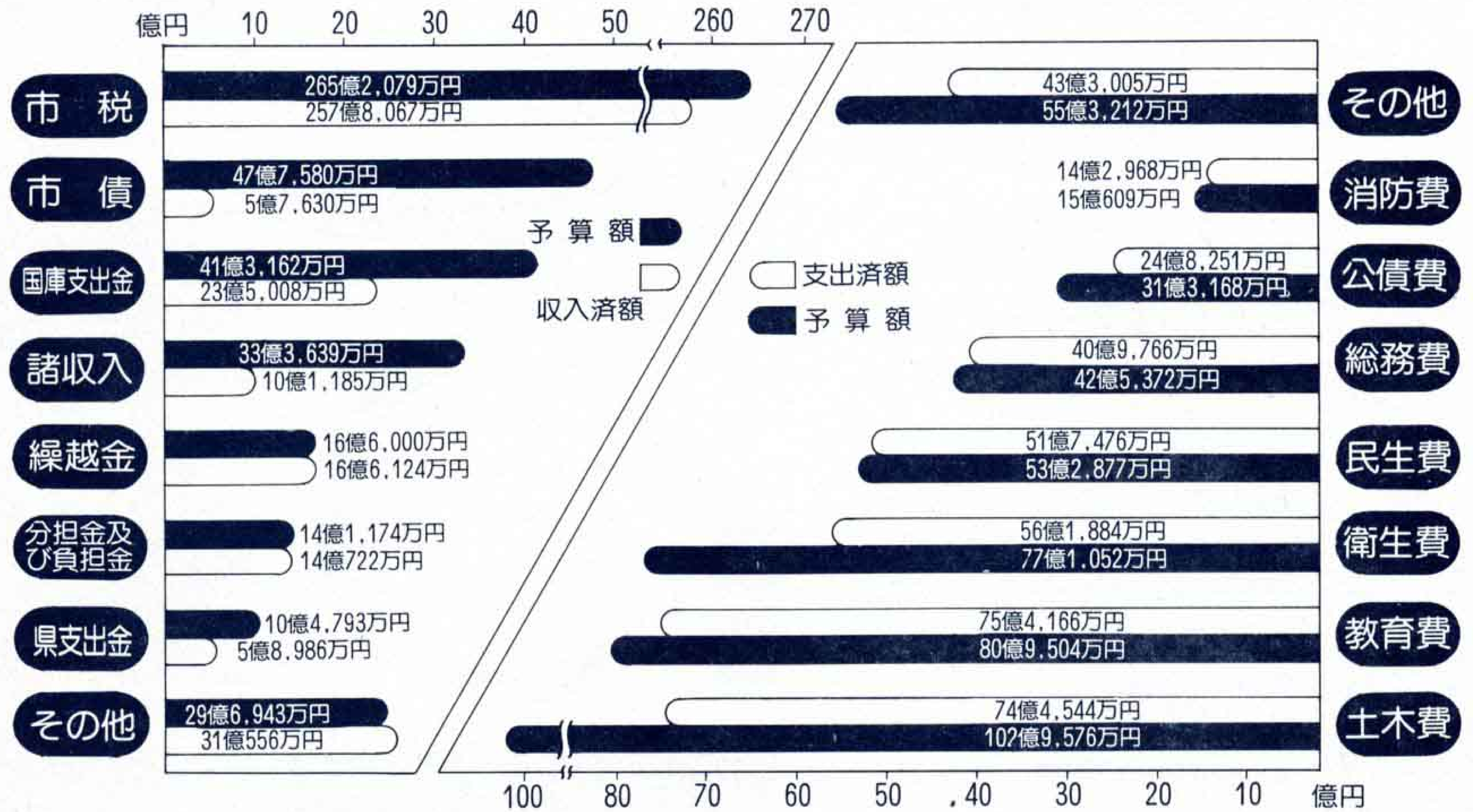
地方債の未償還額	
大蔵省	73億5,906万1,000円
郵政省	73億2,638万4,000円
金融公庫	39億2,728万4,000円
市中銀行	25億9,972万5,000円
共済組合	11億1,777万4,000円
その他	13億8,793万8,000円
合計	236億2,816万6,000円

(60年3月31日現在)



昭和59年度の予算及び執行状況

歳入 予算総額 458億5,370万円 一般会計 **歳出** 予算総額 458億5,370万円
 収入済総額 364億8,278万円 支出済総額 381億2,060万円



特別会計		依田原新田 区画整理会計	駐車場会計
国保会計	予算額 53億1,000万円 支出済額 45億5,506万7,000円	予算額 2,230万円 支出済額 66万8,000円	予算額 7,104万円 支出済額 3,009万6,000円
下水道会計	予算額 36億900万円 支出済額 32億6,022万5,000円	富士中部区画 整理会計	公共用地 先行取得会計
		予算額 11億6,600万円 支出済額 8億9,805万1,000円	予算額 8,920万8,000円 支出済額 4,485万1,000円
		地方卸売 市場会計	老人保健会計
		予算額 3億7,863万円 支出済額 3億4,174万3,000円	予算額 35億5,600万円 支出済額 32億2,079万4,000円

昭和59年度 企業会計の決算状況

☆病院事業



・収入合計	59億3,675万5,000円
医業収益	39億6,381万7,000円
医業外費用	11億5,540万8,000円
特別利益	8億1,753万円
・支出合計	56億 777万4,000円
医業費用	45億5,831万円
医業外費用	5億 778万7,000円
特別損失	5億4,167万7,000円
・純利益	3億2,898万1,000円

☆水道事業



・収入合計	22億3,500万3,000円
営業収益	20億7,773万7,000円
営業外収益	1億5,726万6,000円
・支出合計	20億5,566万7,000円
営業費用	16億4,758万2,000円
営業外費用	4億 808万5,000円
・純利益	1億7,933万6,000円

(昭和59年4月1日～昭和60年3月31日)

1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります